

今週の News

1. 2022 年度（第 21 回）通常総会等の結果
2. 会長就任にあたって/山本俊哉
3. 退任にあたって/小林英嗣
4. 地域主体のまちづくり出前講座等の対象の募集
5. これからのまちづくり研究会第 1 回公開研究会
6. 公開シンポジウム「50 年後を見据えた東京の復興ビジョンを考える」
7. 第 5 回女性とまちづくり研究会の開催

■2022 年度（第 21 回）通常総会等の結果

JSURP 通常総会及びシンポジウム・懇親会が 6 月 25 日（土）に開催されました。総会では 4 つの議事が審議され、①2021 年度事業報告及び収支計算について、②2022 年度事業計画及び活動予算について、③定款の一部変更、④第 2022-2023 年度理事・監事・会長の選任について、の全てが承認されました。

また、会長の交代など 2022-2023 年度執行体制が確定しました。会長：山本俊哉（明治大学）／副会長：坂井猛（九州大学）、高鍋 剛（再任）／専務理事：渡会清治（再任）／常務理事：牧 淳司（醇建築まちづくり研究所）、中川智之（再任）／事務局長：千葉葉子（再任）

■会長就任にあたって/山本俊哉

この度、日本都市計画家協会第 4 代会長として選出され、就任した山本俊哉です。

明治大学建築学科都市計画研究室に専任教員として着任して 18 年目。前職のマヌ都市建築研究所で 20 年間、都市計画とまちづくりの実務を重ねてきましたが、今年全国まちづくり会議が開催される墨田区の向島や JSURP 事務所のある神田のまちづくりには今でも関わっております。最近では日本建築家協会や日本青年会議所などと連携し、全国各地で災害からの逃げ地図づくりを支援してきました。

内外ともに厳しい情勢下、立ち向かわなければならない課題が山積していますが、JSURP の運営にあたっては、特に次の 3 点を重視してまいります。

一つ目は、**創造的な対話の促進**です。まちづくりの現場もそうですが、JSURP の会員同士の「創造的な対話」を促進していきます。

二つ目には、**効果的なオンラインの併用**です。もちろん対面に勝るものはないですが、スマホで何でもできる時代、Zoom や slack、各種 SNS を併用して情報の発信と共有を進めていきます。

三つ目は、**JSURP の強みを活かした連携・協働**です。JSURP だけではできることが限られているので、関係す

る様々な団体・人々との連携を広げ、深め、協働して JSURP の活動に厚みを持たせていきます。

JSURP の活性化には皆さんの主体的参加が不可欠です。どうぞよろしくお祈りします。

■退任にあたって/小林英嗣

労作、JSURP25 周年記念誌『25 年の軌跡』に目を通しながら、2019 年秋、チェルノブイリ視察や電子政府エストニアのヒアリングを終え、ヘルシンキへ移動する船上で、名誉会長伊藤先生と 25 周年記念事業のご相談をしたことを思い出しています。「先生、今年には都市計画法制定 100 周年です。家協会はその 1/4 の間、都市計画の内容や都市計画家の存在意義を具体的に社会へ示し、行動してきました。一年遅れになりそうですが、来年(2020)に 25 周年記念事業を行いますか？」とお話すると、「よし、やろう！」とのひと言。帰国後、早速に実施に向けての準備が加速しました。が、世界はコロナ禍の渦中へ。熟議を重ね、2020 年 12 月に「記念講演会・シンポジウム」の開催に漕ぎつけることが出来ました。副会長・専務理事ほか多くの方々へ改めて感謝いたします。

20 世紀終盤に意志ある野武士集団と伊藤先生の発意、強い意志と行動によって拓き、広げ、深めてきた都市計画家の姿と存在、活動を共有してきた大地＝都市計画家協会。黒川先生から引き継いだ後の 12 年間は、これまでの歴史を深く吸い込みながら、この大地＝JSURP の次の姿を役員の方々と一緒に模索し続けてきたように思っています。

「3 本指で土に穴を三つ作り、豆の種を撒きなさい。1 粒は大地の昆虫。1 粒は蒼空の鳥。1 粒は自分たちのため。これが百姓の心」。私がいま借りている札幌郊外の畑を提供してくれた長老の言葉です。

「開かれた(社会・領域・年代)活動と会員同士のフラットな繋がりが特徴」を意識しながら、JSURP は沢山の豆を撒いてきました。大地を家協会/地域と考えると、昆虫は地域住民・企業市民、鳥はまだ関りが無い領域の人々や企業。自分たちは無論、JSURP 会員。いま、W/P コロナ社会への対応も加わり、三度目の日本づくりが希求されています。これからの日本の姿は、地方創生とは異なる地平の「程よい規模のたくさんの日本」。JSURP が全国各地に撒いてきた沢山の種の成長と実り、そして成果が楽しみです。

新会長へバトンタッチし、これからの 12 年間は、蒼い日本海と濃緑不動の大地を望む積丹で JSURP 新支部をつくり、カーボンニュートラル社会の北海道を意識した「程よい規模のたくさんの北海道」づくりをスタートさせます。乞うご期待。

■2022 年度地域主体のまちづくり出前講座等の対象地域、自治体の募集

今年度の対象地域、自治体を下記3つのカテゴリで募集します。実施に係る各種経費はJSURPが負担します。

①地域向け出前講座（募集数：5地域）

地域主体のまちづくりに取り組みたいと思っている地域団体が対象です。JSURPがテーマに沿って講師を派遣します。講師2人を3回派遣します。

②自治体向け出前講座（募集数：3自治体）

自治体が対象です。JSURPがテーマに沿って講師を派遣します。

③プレイスメイキングワークショップ(募集数:2地域)

プレイスメイキングを取り組んでみたい地域団体が対象です。本格的なプレイスメイキングに取り組む前に、短期間の実験・体験と、本格実施に向けた作戦会議のためのワークショップを行うことを目的に行います。

詳細は下記HPで確認して下さい。

https://www.jsurp.jp/2022_地域主体のまちづくり出前講座/

問い合わせ、質問等は下記連絡先へご連絡ください。

連絡先：認定NPO法人日本都市計画家協会

理事 内山 征（うちやま すずむ）

uchiyama@almec.co.jp

■これからのまちづくり研究会 第1回公開研究会 ～奈良県十津川村における村づくりプロセス～

JSURP これからのまちづくり研究会(国、地方公共団体、民間都市プランナー3者の協働研究会)では、まちづくりに関わる 地方公共団体等をはじめとする多様な主体に属する現役世代同士の議論の第1弾として、「奈良県十津川村における村づくりプロセス」をテーマとする3回連続の公開研究会を開催します。

第1回（7月6日）：大水害からの復興プロセス

第2回（8月3日）：村再生のための「高森のいえ」プロジェクト

第3回（9月21日）：村づくり方針と戦略的プロジェクトの関係

- ・ディスカッション：乾耕輔（元十津川村）、丸山宏司（国土交通省）、葦原敬、真鍋陸太郎（東京大学）他
- ・場所：東京大学14号館2階144号教室
- ・参加費：無料（会場とオンラインのハイブリッド）
- ・問合せ・申し込み先

JSURP 常務理事 中川智之：nakagawa@artep.co.jp

■公開シンポジウム「50年後を見据えた東京の復興ビジョンを考える」－復興で時代を先取りする－

災害復興まちづくり支援機構とJSURPによる公開シンポジウムです。首都直下地震等に備え、目指すべき復興像や描かれるべき復興ビジョンに関して幅広い議論を行うために公開シンポジウムを開催します。

【開催概要】

日 時：2022年7月8日（金）14：00～17：00

会 場：東京大学生産技術研究所S棟
プレゼンテーションルーム

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_04_16_j.html

参加費：無料

定 員：50名（先着順：後日期間限定で配信予定）

申込先：http://www.j-drso.jp/kenkyu_group4.html

主 催：災害復興まちづくり支援機構
認定NPO日本都市計画家協会

共 催：東京大学生産技術研究所加藤孝明研究室
東京大学社会科学研究所「地域力創発デザイン」社会連携研究部門

【プログラム】

趣旨説明

第一部：復興ビジョンを考える視点

- ・論点1：未来の東京の役割・位置づけ・首都性
- ・論点2：未来の東京の都市像
- ・論点3：時代を先取りする復興をすすめるためには

第二部：円卓セッション

－会場からもご参加いただけます

【問い合わせ先】

認定NPO日本都市計画家協会

電話：03-6811-7205

Email：jimukyoku@jsurp.jp

■第5回女性とまちづくり研究会の開催

日時：7月30日（土）午前10時～12時

開催方法：オンライン

申し込み：<https://forms.gle/1N57gZc1Jhik2T4q6>

参加費：無料

主な論点（案）：「女性の視点からのまちづくり」

今回は、「女性の働き方」と、「都市計画・まちづくりにおける女性の視点」の2グループに分かれて話し合い、合流後に相互の話題を交換し合いました。話し足りなかったのは「女性の視点からのまちづくり」でショッピングや、賑わいづくりは出ていたものの、安全・安心や介護方面まで至らず、男性の参加もなかったのもっと深めたいということです。

働き方の方は子育て関連と共に、自己研鑽や多様な世界への関わりなど、活発な意見が交わされました。引き続きこのテーマも踏まえて議論します。

■会議室のご利用について

JSURP 本部事務所スペースを交流・創発の場として活用いただけるように会議室の利用案内をしております。積極的にご活用ください。

- ・申し込み資格：JSURP 会員であること
- ・申し込み方法：協会HP
- ・利用時間：平日の10時～21時
- ・利用料等：協会の正規の活動（研究会、協会事業等）は室料、コピー料共に無料
その他の利用・会合等は規定料金

■7月の予定

- ①7月6日（木）これからのまちづくり研究会
- ②7月8日（月）公開シンポジウム「50年後を見据えた東京の復興ビジョンを考える」
- ③7月15日（金）理事会
- ④7月27日（水）全まち特別委員会
- ⑤7月30日（土）女性とまちづくり研究会